

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	一般小売店 [酒] (店長)	販売量の動き	・観光客の入客が増えている。飲食店の客足も戻ってきている。
	◎	コンビニ (経営 企画担当)	来客数の動き	・3か月前から来客数の流れを前年と比較したときに、今年 は来客数が伸び続けている。
	◎	その他専門店 [陶器] (製 造)	販売量の動き	・11月は大きめの陶器祭りが重なること、年末年始も繁忙 期のためそれに向けての注文が入るなど忙しい時期であ る。祭りに合わせて来訪する県外の陶器好きも多いとのこ とである。
	○	百貨店 (経営担 当)	販売量の動き	・3か月前は台風により、臨時休業日3日間があったため 買上点数が増加している。
	○	スーパー (企画 担当)	販売量の動き	・今月は来客数が伸びていることで売上を伸ばしている。
	○	コンビニ (経営 者)	来客数の動き	・来客数が増えてきており、客単価が上がって売上が伸び ている。
	○	旅行代理店 (マ ネージャー)	販売量の動き	・販売量、売上共に大分戻ってきた様子ではある。前年比 では120%を超えている。
	○	通信会社 (営業 担当)	来客数の動き	・来客数が前年を上回っており店舗は活気付いている。販 売ははまだ横ばいだが、人気の新商品の在庫供給も潤沢に なってきているので12月には期待できる。
	□	乗用車販売店 (経理担当)	お客様の様子	・イベントでの集客も好調であり、購買意欲もある。
	□	一般レストラン (代表者)	来客数の動き	・来客が増えている雰囲気はないが、そこまで減ってもい ない。
	□	その他飲食 [居 酒屋] (経営 者)	来客数の動き	・例年、10～11月はかなり売上の落ちる月だが、今年は早 い時間はかなりの客がいる。しかし後半は全く通りに人影 が見当たらなくなる。週末も遅い時間は人の流れが少ない。 アルコールチェックの影響だろうか。
	□	住宅販売会社 (代表取締役)	来客数の動き	・個人住宅や投資建築に関する相談件数が減少傾向にあ る。
	□	住宅販売会社 (役員)	来客数の動き	・住宅価格の上昇を住宅ローンの低金利で補っている状況 だが全般的に顧客の動きに盛り上がりがない印象がある。
	▲	商店街 (代表 者)	来客数の動き	・現在のところ、特筆すべき報告はない。
	▲	コンビニ (副店 長)	単価の動き	・来客数は伸長しているが、客単価は下落傾向である。価 格の相次ぐ値上げ、原油価格の高騰が販売量の減少につな がっていると考えられる。
	▲	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・県民や国内旅行客の来客数が減ってきている。背景には 物価高などが挙げられる。
	▲	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・新型コロナウイルス感染症発生前と比べ新車、中古車販 売は、かなり厳しい状況が続いている。
	▲	観光型ホテル (企画担当)	販売量の動き	・ホテルの8月の販売室数が前年比8%減少なのに対し、 11月は同比16%減少で、マイナス幅が大きくなっている。
	×	家電量販店 (営 業担当)	来客数の動き	・10～11月は、全般的に来客数が減少する傾向にある。特 にテレビは前年のサッカーワールドカップ観戦需要の反動 減がある。
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－	－
	○	窯業土石業 (取 締役)	受注量や販売量 の動き	・原材料価格は高止まりしているが、価格転嫁は一定程度 進んでおり、収益は回復傾向にある。
	□	食料品製造業 (役員)	それ以外	・11月は連休も多く、観光客が増加し、売上関連は引き続 き好調である。一方で県産原料の供給不安があり、年末の 需要期の供給が心配である。
	□	会計事務所 (所 長)	それ以外	・年末年始にかけて消費性向の高まりが期待されるが、物 価高などで景況が不安定である。
	▲	建設業 (経営 者)	受注価格や販売 価格の動き	・受注金額が低すぎて、利幅が少ない。
×	－	－	－	－
雇用 関連 (沖縄)	◎	学校 [専門学 校] (就職担 当)	求人数の動き	・ここ数年当校を通さず採用活動をしてきた企業より、求 人を出したいという問合せが増えている。来年3月卒予定 者向け求人もあるが、今年新卒の採用活動を行った結果、 思うようには集めることができなかつたことで2025年卒向 けの採用では学校にも求人を出していきたいと方向転換を している。

○	—	—	—
□	人材派遣会社 (総務担当)	求職者数の動き	・求人募集に対して、求職者数の反応が鈍く人手不足感が続いている。
□	求人情報誌製作 会社 (営業)	求人数の動き	・前月同様の求人数となり、夏季シーズンより1割ほど増えた状態を維持している。増加傾向にある業界としては建設業界、施設管理や清掃業務などの作業関連、運輸や物流業界が挙げられる。
□	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・ここ最近の求人数は前年同月比で横ばいの傾向である。
□	学校 [大学] (就職支援担当)	それ以外	・物価高騰による消費意欲の低下などがある。
▲	—	—	—
×	—	—	—